

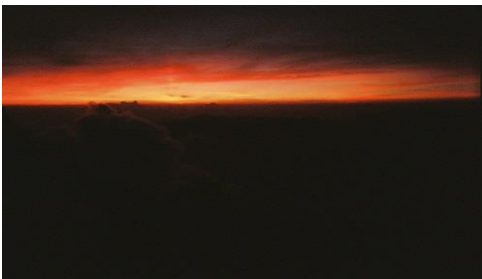
定年後の2007年7月の思い出

登山家のあこがれの山 槍ヶ岳（標高3180m）登山の思い出

私の所属していた“登山くらぶ”は通常は東北の山々を登山し、夏には日本のアルプスを登山する為月に2回定例の登山で体力と登山技術を学び事故の無い“登山くらぶ”でした。

その中でも北アルプスの槍ヶ岳の挑戦は思い出深い一つでしたが、登山道は雪渓の谷間を登り切り、山の登山道を更に進み槍ヶ岳の槍の穂先の下まで来たら、山が覆い被さるように見え、恐怖感を感じ登山する事をあきらめようとした瞬間、恐怖感が全く無くなり槍ヶ岳の頂上制覇することが出来 今でも心に残った登山でした。

頂上は狭く次から義へと登る人がいるので写真を撮りすぐ下山しました。これからは西鎌尾根の縦走し、鏡池より約9時間の下山で、体系のバランスが悪かったので、後に脊柱管の一部にズレが判り、影響によりコロナ後は登山が出来なくなりました。



槍ヶ岳（やりがたけ）は、飛騨山脈南部にある標高3,180 mの山である。山城は中部山岳国立公園に指定されており、日本で5番目に高い山である。長野県松本市・大町市・岐阜県高山市の境界にある。初登攀は僧の播隆上人。日本百名山、新日本百名山 及び花の百名山に選定されている。通称「槍」。